

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R6(2024).9.9

No. 9

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市 HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

兵庫県内研修所連盟 「情報教育研究協議会」 より

「よりよく未来を生き抜く情報活用能力の育成～人口知能（AI）の飛躍的な進化の中で～」と題して兵庫教育大学大学院 森山 潤 教授に講義をいただきました。

要点1 日本が目指す社会の方向性 → Society5.0

※内閣府（つまり国）が推進。

「サイバー空間とフィジカル空間の融合」という手段と、「人間中心の社会」という価値観が鍵。

要点2 学習指導要領の趣旨

→ 現在と未来に向けて自己の人生を拓き、生き抜く力が必要。

Society 5.0 時代には、自ら課題を発見し解決手法を模索する、探究的な活動を通じて身につく能力・資質が重要。

要点3 AI（人工知能）の台頭

今ある職業がなくなる？が、それは当たり前（今の職業は江戸時代では考えられなかった職業ばかり）。ただ今はその変化のスピードがとても速い。

要点4 今の子どもたちに求められる力

→①学び続ける力 ②多様な学びを統合する力 ③行為主体性（エージェンシー）④イノベーション力

要点5 教育改革の方向性（教育は未来を創る…今の社会や社会の変化を把握する必要がある）

→G I G A端末のICT活用、学習基盤としての情報活用能力、プログラミング教育、STEAM教育
☆学習基盤としての情報活用能力…A情報活用の実践力、B情報の科学的理解、C情報社会に参画する態度

一人一台端末で言えば、①文房具のように使いこなせること ②学び続けるためのツール

☆「個別最適な学習」と「協働的な学習」の一体的な充実を図るためにもICTの活用が必須。

「個別最適な学習」…指導の個別化（同じ目標の達成に向けて、個々にあった指導を展開）

学習の個性化（個別の目標の達成に向けて、個々への支援を展開）

「協働的な学習」…異なる考え方が組み合わせたり、より良い考えを生み出す。

要点6 授業観を変える…G I G A端末を前提に授業デザインを革新する

→インプットの学びをICTの活用で進め、アウトプットの学びに重点を置く→探究的な学びにつなげる

例：教科書の内容説明をまとめた動画（15分）≠授業（45分）

☆G I G A端末の活用の基本モデル

・教員による活用＝提示・共有・評価

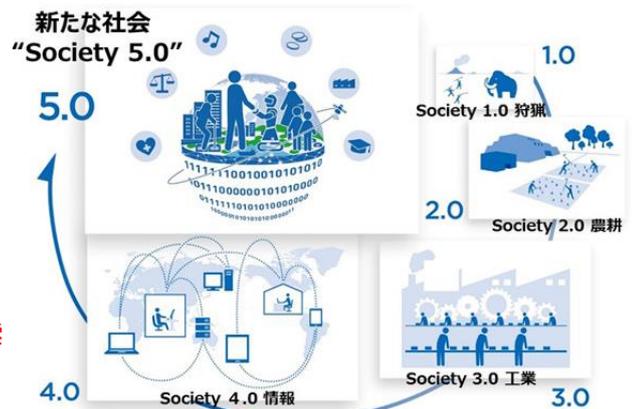
・児童生徒による活用＝調べる・深める・表す・つながる（苦手を克服し得意を伸ばす、家庭学習と連携する）

☆「深い学び」…「見方・考え方」を働かせて、次への学びへ

→教科書の指導書に依存した指導は、×

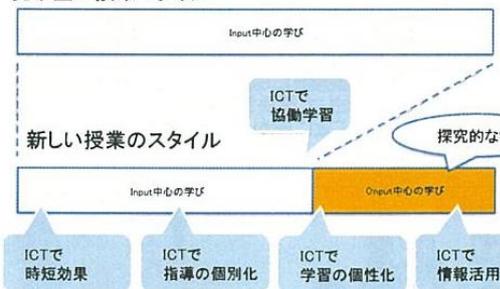
要点7 次期学習指導要領の方向性（予定）

→①STEAM教育 ②生成AIの活用



ICTを活用した授業の転換

従来型の授業スタイル



G I G A端末を前提とした授業デザインを考えるうえで、以上の要点を踏まえ、各校にて管理職の先生方、校内研修の担当の先生方を中心に校内研修等で活用いただき、各先生方へ情報共有ください。